

## 安全安心な「美郷米」～友好都市の東京都大田区へ～

「安全で安心なお米を食べていただこう」と、美郷町の農家の皆さんが丹精込めて生産したあきたこまちを、友好都市の東京都大田区にお届けしています。

豊かな大地と清冽な水で育み、匠の技と一途なものづくりの気概が生み出した自慢の「美郷米」。だからこそ安全で安心なお米としてPRし、自信を持って売り込んでいます。



平成20年4月スタートの「美郷町堆肥センター」では、地元の畜産農家からの厩肥ともみ殻による完熟堆肥を製造。資源循環型農業による美郷米の生産農家へお届けしています。



6月28日～29日には、大田区の米穀店に美郷米の生産ほ場を視察していただく『産地訪問ツアー』を開催。きれいな水の流れを見て、すくすくと育った稲株を確認し納得の表情。



東京都大田区の蒲田駅前で、10月17～18日に開かれた『大田ふれあい広場』では、「美郷米」の試食とサンプル米のプレゼントを実施。各イベント等では、おいしいお米のPRと消費者との交流を推進中。



9月、待ちに待った収穫の秋。一粒一粒が消費者の皆さんに届くことを思い、コンバインでの収穫が続きました。「今年もいい米が出来たなあ～」

交流の拡大

町のPR

所得の向上

私は美郷のマイミーちゃん。  
お米の形のお耳がチャームポイント。美郷町の農家の皆さんがつくったお米を全国に紹介しています。皆さん、めざましごはんを食べようね。



10月15～16日には、大阪の高校生33名が来町し農作業と農家民泊を体験。9月に設立した美郷町都市農村交流推進協議会が取り組んだ最初の交流活動。「美郷米」のファンがまた増えたかな？



大田区の保育園の昼食時間。今日のメニューは、人気のカレーライス。もちろんご飯は「美郷米」。園では食育活動を熱心に取り組んでいます。



大田区の一部保育園では、今年になってから「美郷米」を給食に使用。栄養士さんは、週4回あるごはん給食の献立を考えます。



「美郷米」ののぼり旗を掲げた大田区の米穀店。現在29店舗で10月から新米を販売中。友好都市の「美郷米」として注目されています。

心を結ぶ 安心

美